

ふるさとイベント大賞受賞「フラッグアート展 in 岐阜」運営



岐阜市商店街振興組合連合会との連携で、岐阜市の中心繁華街（神田町通り）に賑わいを創出するため、総合監修・審査委員長にアーティスト日比野克彦氏を迎え、全国から公募したアートフラッグを、高さ6m、全長2kmという日本最大級のアーケードに展示。

街に解放されたアートを介して「景観を楽しく美しく彩る／人々に“通りを歩く楽しさ”を思い出してもらおう／通りを歩く人々と商店との間にコミュニケーションが生まれる」街づくりを目指し、1996年のスタート以来、毎年10月に開催され（現在も継続中）、2006年には「日本イベント大賞」を受賞、岐阜の秋を彩る風物詩としてすっかり定着しています。

街なかに展示された作品のもとで出品者と審査員が直接コミュニケーションをとる「公開審査」も、画期的な試みとして評価を得ています。

